東京ブロック会

講演会と懇親会を開催

日本善行会東京ブロック（栗原　忍ブロック長）の講演・懇親会が十一月二十一日、東京都千代田区の帝国ホテル・本館二階蘭の間で開催された。

栗原ブロック長、勝野堅介会長の挨拶の後、講演会を開催した。講師の練馬総合病院の循環器専門医の伊藤鹿島先生から大変貴重なお話があり、受講者は熱心に傾聴していた。

懇親会は高田修、山下純雲子両本部副会長、黒田収台東区町会連合会会長の挨拶の後、石井將博本部常務理事の乾杯の音頭でオープニングとなり、歓談に花が咲く中、各支部間の情報交換、意見交換が活発に行われた。

祝電
菅原一秀様（衆議院議員）
飛田ルミ様（足利大学教授）
若村麻由美様（女優）

大阪府吹田市支部

交通安全祈願千羽鶴をアスクルロジスト様に贈呈

秋の平成三十年十一月二十日（火）に、新しく二月に吹田市にできたアスクル吹田で、社員や物流・輸送に関わる皆様方の安全と、ひいては吹田市民の皆様の交通安全を祈念して、千羽鶴の贈呈を行いました。

当日は、事務用品等を扱うアスクルと生活用品を扱うロハコの物販会社で、商品の配送を行っている部門であるアスクルロジスト様に千羽鶴を贈呈しました。

アスクル吹田は昨年の二月に本格稼働をはじめたアスクルの物流センターです。注文すると、翌日配達の「明日来る」から転じてアスクルと名付けられています。

吹田市支部から、永田支部長、西川・本田副支部長、宮浦会計、砂川・田中理事、柴田監事、小川氏、林事務局長の九名が出席し、ご用意いただいた会議室で出席者の紹介とあいさつの後、アスクルロジスト株式会社 西日本配送事業本部 関西営業所所長の才本様に交通安全千羽鶴を贈呈しました。

才本様からは、社名の入った車輌を使うことで、安全運転に対する従業員の意識を高めており、事故ゼロの記録を更新中であるとのお話しをいただき、今後も交通安全の誓いが述べられました。

大分県大分支部

平成三十年度 秋季善行表彰伝達式

秋季善行表彰伝達式を十二月十五日（土）に、来賓に日本善行会本部から山下純雲子副会長、地元大分市から佐藤樹一郎市長、野尻哲雄市議会議長、右田芳明社会福祉協議会会長をお迎えして、大分市東部公民館大会議室で行いました。

受賞者はスーパーボランティアとして全国的に有名を馳せた尾畠春夫氏をはじめ、男性が十人、女性が四人の十四人です。

表彰状とメダルは山下本部副会長から一人一人に伝達されました。

テレビ・新聞等のマスコミのフラッシュを浴びての伝達式で、受賞者はもちろん、出席の家族や善行会員も目を見張る伝達式となりました。

松井猛支部長の祝辞、来賓の方々の祝辞を頂き、出席全員、善行への決意を新たにし、受賞者を代表して篠田俊二氏が更なる善行の決意を謝辞で述べました。

式後、受賞者を囲んで意見交換が行われ、有意義な伝達式を終えました。

会員の声

少年の環境を思う

群馬県前橋支部会員　安達　忠良

近年、少子化や核家族化、情報化など子供たちを取り巻く環境は急速に変化している。

こうした中で、新たな課題としてネット依存・ニート問題などが表出し、これまでになく複雑な状況となっている。

そこで寂しさというキーワードで最近気になる本を見つけた。本の名前は『世界一孤独な日本のおじさん』である。「角川新書・岡本純子著」

私を含めて日本のおじさんは世界で一番孤独なのだそうだ。社会的に孤独であることは『タバコ』を一日十五本程吸うのと同じくらい健康被害を及ぼすらしく、孤独問題は日本だけでなく、イギリスでも孤独担当大臣のポストができるほど社会問題化しているとのニュースもある。孤独な人ほど、インターネットに費やす時間が長くなり、それがさらに社会的孤立を招くという悪循環に繋がっているという。大人をはじめ子供たちまでもが孤独（さみしさ）に直面している。

それを裏付けるショッキングなニュースが四月の新聞で報道された。「SNSがきっかけで犯罪被害」に遭った十八歳未満の子供が一千八百十三人で、過去十年で最多との掲載に驚かされた。

その増加の大きな要因は金品目的などによる「児童買春」やSNSで知り合った相手に自分の画像を撮影し送る「自撮り被害」が増加したためといわれている。

SNSの被害の理由には様々あるが、犯罪被害に遭ってしまった理由の第一位は、児童買春の金品目的で第二位は「相手が優しかった、相談に乗ってくれたから」で四人に一人がSNSのやり取りの中で相手の優しさを認め、現実に犯罪被害に巻き込まれている。

それは、孤独な子供たちがSNSに優しさを求めているものと考えられている。

この問題は、SNSの危険性を子供たちに話すだけでは解決しない大きな問題であり、もっと子供たちの心に寄り添う事を考えていかねばならない大変根深い問題であると感じている。

また、子供たちのゲーム依存が世界において社会問題となっている。二千十八年六月、ゲーム依存症・ゲーム障害はWHOが病気と認めた。ゲーム障害とは、ゲームをしたい衝動が抑えられない、日常生活よりゲームを優先してしまう、健康を損なうなど問題が起きても続けてしまう。こうした状況が十二か月間以上続く場合に診断できるとしている。

昨年に韓国では、一日十五時間椅子に座ったままゲームをしていて、いわゆるエコノミー症候群で、脳に血栓が詰まり死亡する事例が数件確認されているほか日本でも、先日ニュースで「学校に行かずゲームを一日十六時間、肺は五十三歳並の中学三年生」という記事があった。こうしたゲーム障害の問題が日本でも起こっている。

今後、これら問題が深刻化するとともに、ニート問題にまで及ぶものと考えている。

善行会はこれら問題等に対し地域への情報発信・相談等に関わっていければと思う。

ふる里自慢

大分県竹田支部

私たちの自慢の竹田市は、九州のヘソと言われる中央部に位置し、南に宮崎県境ジオパーク認定祖母傾山、西に阿蘇岳、北に九州最高峰久住山に囲まれた大自然の環境良い市です。今世界へ送信する和太鼓集団DRUMTADの拠点、美容健康に良い日本一の炭酸泉名水百選に選ばれた湧水群が多数あります。

産業は、竹田カボス、大分豊後牛、種牛の部日本一、ゲノム育種価の種雄牛、夏秋トマト生産地等があります。また、市中心部に広瀬武夫を祀る広瀬神社、高台に滝廉太郎が作曲した荒城の月のモチーフとして知られる国指定史跡の「岡城跡」が有り、城跡部門で石垣の美しさが第一位に輝いています。

一度来竹して見ませんか。

平成三十年の五月に会員七名で善行会を立ち上げ、住民が安全安心に暮らせる地域作りに、長年活動を重ねておられる方々を推薦し、会員増に務め、新年と共に第一歩を踏み出して将来も善行精神が受け継がれる事を願っています。

善行川柳

選者　東　逸平

○さりげない　言葉が明日の　糧となり
北海道　齊藤　勉

評／投句三編の中から、これを選びました。不景気になると人の言葉は厳しく、優しさが失われてくるような気がしますね。洗練された句調。素晴らしいです。

○後ろから　忘れ物よと　あなた云う
東京都　神鳥谷知己

評／いいですね。筆者などでは、いつもスマホを忘れて妻に叱られていますよ。老いていく夫婦の寸景がよく現れています。《あなた云う》は、《妻の声》とした方がハッキリしますね。

○火の用心　園児の拍子木　村守る
大分県　佐藤　満洋

評／園児の澄んだ声も聞こえてきますね。平和な村が拍子木の音に守られて、おや？星達が微笑んでいますよ。